



平成 27 年 9 月 8 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 イ ー ブ ッ ク
イ ニ シ ア テ ィ ブ ジ ャ パ ン
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 小 出 齊
(コード番号：3658 東証第一部)
問 い 合 わ せ 先 取 締 役 磯 江 英 子
(TEL. 03-3518-9544)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 27 年 9 月 8 日開催の取締役会において、以下のとおり、最近の業績の動向等を踏まえ、平成 27 年 3 月 12 日に公表した平成 28 年 1 月期（平成 27 年 2 月 1 日～平成 28 年 1 月 31 日）の業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

1. 当期の連結業績予想数値の修正（平成 27 年 2 月 1 日～平成 28 年 1 月 31 日）（単位：百万円）

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	連結当期純利益	1 株 当 たり 連結当期純利益
前回発表予想（A）	6,000 ～7,000	△200 ～100	△200 ～100	△128 ～80	△27.85 ～17.41
今回修正予想（B）	7,000 ～7,500	△200 ～0	△200 ～0	△128 ～0	△27.85 ～0.00
増減額（B－A）	1,000 ～500	0 ～△100	0 ～△100	0 ～△80	
増減率（％）	16.7% ～7.1%	—	—	—	
（参考）前期連結実績 （平成 27 年 1 月期）	5,129	313	316	183	40.02

2. 修正の理由

当第 2 四半期連結会計期間において、株式取得及び株式交換により子会社化した株式会社ブークス及び第三者割当増資の引き受けにより子会社化したマグネット株式会社並びに新規設立により上海漫客网络科技有限公司を連結の範囲に含めており、売上高において1,200百万円～1,300百万円程度が増収要因となっております。一方で、販路拡大のために注力している B to B 展開（紙と電子のハイブリッド化等）においては、システム開発及び営業活動において遅延が生じており、想定していた売上200百万円～300百万円が減収要因と

なっております。加えて、当社のB to B展開以外の新規事業において開始時期や売上の立ち上がりに遅れが生じる可能性があること、また、連結子会社の業績の進捗状況を踏まえ、連結売上高は前回予想数値から500百万円～1,000百万円の増収幅とする7,000百万円～7,500百万円に修正いたします。

利益面においては、第2四半期連結会計期間において連結子会社化した会社の損失の計上及びのれん償却、並びに当初第2四半期より開始予定であったB to B展開が第4四半期末に遅れることにより、前回予想数値から100百万円程度の減益要因を想定しております。以上の要因から、連結営業損益及び連結経常損益を△200百万円～0円、連結当期純損益を△128百万円～0円に修正いたします。

※業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上